



秋田への想い

[秋田市観光クチコミ大使]
損害保険ジャパン株式会社 常務執行役員
関東本部長・甲信越本部長・北陸本部長

あら い えい いち
荒井 英 一 氏

祖母の実家が秋田県仙北市角館町。母もそこで育ちました。長期休みになるといつも秋田へ行っていました。秋田新幹線がなかった時代、奥羽本線で大曲まで。田沢湖線で角館下車。7時間くらいかかったんじゃないかな。今でも親戚の方々が住んでいます。秋田音頭を聞き、秋田のお米、稲庭うどん・いぶりガッコ・きりたんぼ・はたはた・春の山菜などをたくさん食べて育ちました。今でも実家に帰ると秋田のものが食卓にならびます。今年もタラの芽・こごみ・竹の子・コシアブラ等々沢山送っていただきました。乳頭温泉郷・玉川温泉・男鹿半島・田沢湖などたくさんの方に連れて行ってもらいました。樺細工・曲げわっぱなどは自宅でも実家でも使っています。もちろん実家の方が数多くありますが。

バスケットボール部時代の高校三年生。夏のインターハイは秋田開催。かの有名な能代工業と準決勝で対決しました。わがチームの応援はほとんど家族だけ。完全アウェー状態で圧敗という結果。選抜されたわかくさ国体（奈良県開催）では東京都×秋田県。東京都は選抜チーム、秋田県は能代工業の単独チーム。決勝戦で対決しました。再々延長の結果、東京都が勝ちました。うれしかったあ。

その冬にスキーに初チャレンジ。場所は田沢湖高原スキー場。母の従兄が私の先生。天気は大雪。いきなり頂上付近まで連れていかれ、何が楽しいのかさっぱりわからず帰ってきた覚えがあります。

結婚したてのころ父母を連れて家内と4人で東北地方の桜を見に行きました。北上展勝地・弘前城・角館武家屋敷・桧木内川の桜も最高でした。子供ができてからも夏休みに秋田にいきました。夜中と明け方に虫取り（カブトムシやクワガタ）をしたのを覚えています。

社会人としては大阪・札幌など各地を転勤で回りましたが、30年目となる2018年4月に東北担当となりました。一番喜んでくれたのが母でした。「一緒に秋田に遊びに行けるね」と。結局私が東北担

当の2年間一度も母と秋田に行くことはありませんでしたが、東北6県をまわる日々が続きました。もちろん秋田も。

秋田を数回訪問した際に秋田市観光クチコミ大使という制度を知ることになります。ただ単純に秋田の魅力を県外の方々に少しでも広めたいという思いから立候補して観光クチコミ大使にならせていただきました。竿灯まつりには毎年お声かけいただき迫力ある演技を間近で見ることができました。横手のかまくら、角館のやまぶっつけ、大曲の花火大会も見ることができました。親戚とも何度か会える機会を作れたことをうれしく思います。秋田大好きな私にとってはやめられない担当業務でした。人が、お酒が、温泉が、食が、自然がどれをとっても最高です。

新型コロナウイルスの影響が出始めた20年2月に人事異動発令があり、4月から担当が関東・甲信越・北陸と内示を受けました。転任のご挨拶も満足にできず東北を離れることになったことが残念でなりません。今回お話をいただいたこの商工会議所報6月号掲載時には新型コロナウイルスが収束していること、今後ますますの秋田市・秋田県が活力ある町であり続けることを祈念してやみません。観光クチコミ大使の一員として今後も秋田の魅力を微力ながら発信し続けていきたいと思えます。

最後に、「I LOVE AKITA」。

■略歴

1967年1月11日	東京都生まれ
1985年3月	明治大学附属中野高等学校卒業
1989年3月	明治大学政治経済学部卒業
1989年4月	安田火災海上保険株式会社(現損害保険ジャパン株式会社)入社
2018年4月	同社 執行役員東北本部長
2020年4月	同社 常務執行役員 関東本部長・甲信越本部長・北陸本部長